

各 位

上場会社名	オプテックス・エフエー(株)
代表者	代表取締役社長 小國 勇
(コード番号)	6661)
問合せ先責任者	取締役管理部門統括 坂口 誠邦
(TEL)	075-325-2930)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成24年2月10日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

● 業績予想の修正について

平成24年12月期第2四半期(累計)連結業績予想数値の修正(平成24年1月1日～平成24年6月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	2,300	150	160	100	19.99
今回修正予想(B)	2,115	128	131	63	12.59
増減額(B-A)	△185	△22	△29	△37	
増減率(%)	△8.0	△14.7	△18.1	△37.0	
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成23年12月期第2四半期)	2,395	305	326	189	37.96

平成24年12月期通期連結業績予想数値の修正(平成24年1月1日～平成24年12月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	5,000	500	510	300	59.98
今回修正予想(B)	4,600	300	310	170	33.98
増減額(B-A)	△400	△200	△200	△130	
増減率(%)	△8.0	△40.0	△39.2	△43.3	
(ご参考)前期実績 (平成23年12月期)	4,566	454	476	264	53.03

修正の理由

【第2四半期連結累計期間の業績予想数値の修正】

売上高におきましては、主要市場である欧州向けは、物流、自動車、医薬業界向けに汎用機器を中心に堅調に推移しましたが、国内向けが円高や需要停滞により、電子部品、半導体、二次電池、液晶関連業界において設備投資が減速した影響により汎用機器及び特定用途向けアプリケーション機器の売上が鈍化したこと及びアジア(中国・韓国)向けにおいても一部、スマートフォン向け設備投資は旺盛であったものの、全体的に景気減速で設備投資が抑制されたことにより受注が計画を下回る状況で推移いたしました。

この結果、売上高については、前回予想を185百万円下回る2,115百万円となる見込みであります。また、利益面では、売上の減少に伴う粗利益の減少により、営業利益、経常利益、四半期純利益ともに前回予想を下回る見込みであります。

【通期の連結業績予想数値の修正】

下半期における内外の経済情勢は、引き続き欧州の財政・金融危機を発端とした海外景気の悪化懸念、国内においては世界経済の減速や円高の定着、価格競争の激化など依然、予断を許さない状況が続くものと予想されます。

このような状況の中で当社グループをとりまく事業環境は、欧州向けは底堅く推移するものの、国内においては、比較的需要が堅調に推移している食品、自動車業界以外の電子部品、半導体、液晶業界向けが引き続き円高、需要低迷により設備投資が停滞するものと予想され、その結果、通期の売上高については、前回予想を400百万円下回る4,600百万円となる見込みであります。

また、利益面では、売上の減少に伴う粗利益の減少に加え、第2四半期連結累計期間において見込んでいた新製品に係る開発費が第3四半期以降に計上されることから、営業利益、経常利益、当期純利益ともに前回予想を下回る見込みであります。

(注)上記の業績予想数値は、本資料発表日現在において入手可能な情報に基づいて作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

以上